

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2023年8月4日まで（2013年8月23日設定）	
運用方針	メキシコ債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、メキシコの公社債を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 マザーファンドにおける債券等の運用にあたっては、FIIインベストメント・インターナショナルに運用指図に関する権限を委託します。	
主要運用対象	ベビード マザー ファンド	メキシコ債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。 メキシコの公社債を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビード マザー ファンド	外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。なお、第2計算期末までの間は、収益の分配は行いません。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

三菱UFJ メキシコ債券オープン ＜為替ヘッジなし＞（毎月決算型）

第39期（決算日：2016年12月5日）
 第40期（決算日：2017年1月4日）
 第41期（決算日：2017年2月6日）
 第42期（決算日：2017年3月6日）
 第43期（決算日：2017年4月4日）
 第44期（決算日：2017年5月8日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「三菱UFJ メキシコ債券オープン＜為替ヘッジなし＞（毎月決算型）」は、去る5月8日に第44期の決算を行いましたので、法令に基づいて第39期～第44期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 URL:<http://www.am.mufg.jp/>

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

お客さま専用フリーダイヤル TEL. 0120-151034
 (9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)
 お客さまのお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 (分配落)	準 価 額			債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 総 額
		税 分	込 配	み 期 金 騰 落			
	円		円		%	%	百万円
15期(2014年12月4日)	11,594		60		2.2	90.4	1,483
16期(2015年1月5日)	11,088		60		△3.8	87.1	1,978
17期(2015年2月4日)	11,251		60		2.0	91.9	2,040
18期(2015年3月4日)	10,878		60		△2.8	91.3	2,065
19期(2015年4月6日)	10,939		60		1.1	92.5	2,271
20期(2015年5月7日)	10,406		60		△4.3	92.9	1,781
21期(2015年6月4日)	10,687		60		3.3	91.8	1,788
22期(2015年7月6日)	10,376		60		△2.3	94.2	1,666
23期(2015年8月4日)	10,289		60		△0.3	95.3	1,639
24期(2015年9月4日)	9,481		60		△7.3	94.5	1,408
25期(2015年10月5日)	9,553		60		1.4	89.2	1,345
26期(2015年11月4日)	9,785		60		3.1	90.3	1,317
27期(2015年12月4日)	9,619		60		△1.1	91.6	1,162
28期(2016年1月4日)	9,120		60		△4.6	89.9	1,088
29期(2016年2月4日)	8,546		60		△5.6	91.2	1,009
30期(2016年3月4日)	8,213		60		△3.2	91.8	954
31期(2016年4月4日)	8,399		60		3.0	92.2	955
32期(2016年5月6日)	7,852		60		△5.8	91.6	827
33期(2016年6月6日)	7,364		60		△5.5	92.8	763
34期(2016年7月4日)	7,269		60		△0.5	92.9	730
35期(2016年8月4日)	6,931		60		△3.8	93.0	675
36期(2016年9月5日)	7,258		60		5.6	92.8	715
37期(2016年10月4日)	6,757		60		△6.1	92.8	644
38期(2016年11月4日)	6,718		60		0.3	92.4	657
39期(2016年12月5日)	6,513		60		△2.2	88.1	676
40期(2017年1月4日)	6,524		30		0.6	95.7	716
41期(2017年2月6日)	6,460		30		△0.5	85.4	790
42期(2017年3月6日)	6,851		30		6.5	84.2	1,307
43期(2017年4月4日)	7,051		30		3.4	83.7	2,298
44期(2017年5月8日)	7,067		30		0.7	89.8	2,439

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは、メキシコの公社債を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざしますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
第39期	(期 首) 2016年11月4日	円 6,718		% —	% 92.4		% —
	11月末	6,507		△3.1	87.6		—
	(期 末) 2016年12月5日	6,573		△2.2	88.1		—
第40期	(期 首) 2016年12月5日	6,513		—	88.1		—
	12月末	6,613		1.5	95.4		—
	(期 末) 2017年1月4日	6,554		0.6	95.7		—
第41期	(期 首) 2017年1月4日	6,524		—	95.7		—
	1月末	6,423		△1.5	92.2		—
	(期 末) 2017年2月6日	6,490		△0.5	85.4		—
第42期	(期 首) 2017年2月6日	6,460		—	85.4		—
	2月末	6,721		4.0	88.6		—
	(期 末) 2017年3月6日	6,881		6.5	84.2		—
第43期	(期 首) 2017年3月6日	6,851		—	84.2		—
	3月末	7,176		4.7	91.0		—
	(期 末) 2017年4月4日	7,081		3.4	83.7		—
第44期	(期 首) 2017年4月4日	7,051		—	83.7		—
	4月末	6,944		△1.5	90.4		—
	(期 末) 2017年5月8日	7,097		0.7	89.8		—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

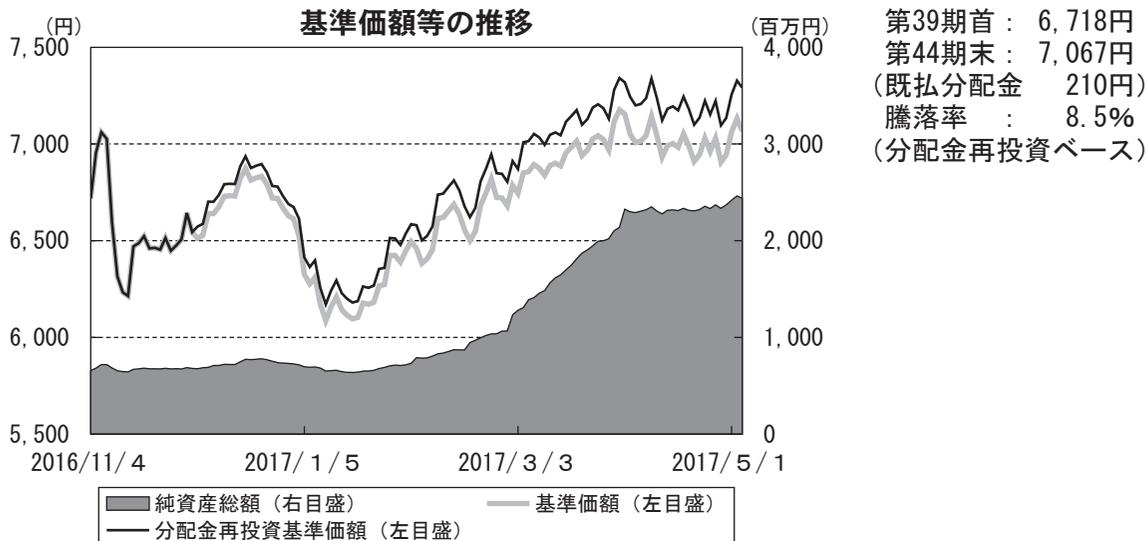
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

当作成期中の基準価額等の推移について (第39期～第44期：2016/11/5～2017/5/8)

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ8.5% (分配金再投資ベース) の上昇となりました。



- ・ 分配金再投資基準価額は、収益分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・ 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

債券利子収入を享受したことやメキシコペソが対円で上昇したことが基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

メキシコ金利が上昇したことが基準価額の下落要因となりました。

投資環境について

(第39期～第44期：2016/11/5～2017/5/8)

金利の推移



(注) 現地日付ベースで記載しております。

為替市況の推移
(当作成期首を100として指数化)



◎債券市況

- ・当作成期首から2016年11月下旬にかけては、米大統領選挙で保護主義的な政策を掲げるドナルド・トランプ氏が勝利したことなどが影響し、メキシコ金利は上昇しました。
- ・その後は、米国の通商政策やメキシコのインフレに対する思惑などが材料視され、メキシコ金利は上下する展開となりました。
- ・当作成期を通じて見ると、メキシコ金利は上昇しました。

◎為替市況

- ・2016年11月上旬に実施された前記の米大統領選挙の結果を受け、メキシコペソは対円で下落したものの、米国金利の上昇を受け円安・米ドル高が進行したことなどが影響し、12月中旬にかけてメキシコペソは対円で上昇しました。12月下旬から2017年1月下旬にかけては、米国の通商政策に対する懸念が広がったことなどからメキシコペソは対円で軟調に推移したものの、その後、メキシコ中央銀行による利上げや為替介入観測が高まったことなどを背景に、メキシコペソは対円で上昇しました。
- ・当作成期を通じて見ると、メキシコペソは対円で上昇しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

<三菱UFJ メキシコ債券オープン<為替ヘッジなし> (毎月決算型) >

- ・主要投資対象であるメキシコ債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、メキシコ債券を高位に組み入れた運用を行いました。
- ・メキシコ金利が上昇したことなどがマイナスに影響したものの、債券利子収入を享受したことやメキシコペソが対円で上昇したことなどがプラスに寄与し、基準価額（分配金再投資ベース）は上昇しました。

<メキシコ債券マザーファンド>

基準価額は当作成期首に比べ10.0%の上昇となりました。

◎組入比率

- ・現物債券の組入比率を高位に維持して運用を行いました。

◎債券種別構成

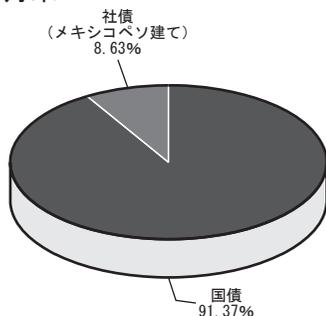
- ・メキシコ国債を中心に運用を行いました。社債については、財務状況が相対的に安定しており、かつ利回り面でも魅力があると考えメキシコペソ建て社債を引き続き一部組み入れました。

◎金利戦略

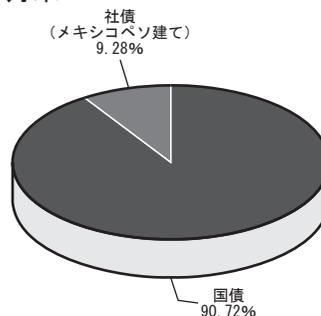
- ・メキシコ国債については、バリュエーション面で投資妙味があると考えられる中長期ゾーンを中心に運用しました。
- ・ポートフォリオ全体で見ると、メキシコ金利が上昇したことなどがマイナスに影響したものの、債券利子収入を享受したことやメキシコペソが対円で上昇したことなどが基準価額にプラスに寄与しました。

(ご参考)

種類別組入比率
2016年10月末



2017年4月末



(注) 比率は現物債券評価額に対する割合です。

(ご参考)

利回り・デュレーション (平均回収期間や金利感応度)

2016年10月末

2017年4月末

最終利回り	6.40%
最終利回り (為替取引考慮後) ※	6.40%
直接利回り	6.51%
デュレーション	5.96年



最終利回り	7.36%
最終利回り (為替取引考慮後) ※	7.36%
直接利回り	6.83%
デュレーション	5.72年

- ・データはF I Lインベストメンツ・インターナショナルより提供された運用ポートフォリオベース (現地月末ベース) のものです。
 - ・最終利回りとは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
 - ・直接利回りとは、個別債券等についての表面利率を加重平均したものです。
 - ・利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
 - ・デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。
- ※メキシコペソ以外の通貨建て債券等に投資した場合は、原則として、実質的にメキシコペソ建てとなるように為替取引を行います。最終利回り (為替取引考慮後) は、最終利回りに当該為替取引によるプレミアムやコスト相当分を反映した数値を記載しております。なお、為替取引によるプレミアムやコストが発生しない場合においても、算出方法が異なるため「最終利回り」と為替取引考慮後の数値が一致しない場合があります。

(ご参考)

債券の格付分布

作成期首 (2016年11月4日)

作成期末 (2017年5月8日)

格付種類	比率	銘柄数
AAA格	0.0%	0
AA格	0.0%	0
A格	0.0%	0
BBB格	94.4%	10
BB格以下	0.0%	0
無格付	0.0%	0



格付種類	比率	銘柄数
AAA格	0.0%	0
AA格	0.0%	0
A格	0.0%	0
BBB格	91.6%	12
BB格以下	0.0%	0
無格付	0.0%	0

- ・比率は純資産総額に対する割合です。
- ・格付の振分基準は、以下の通りです。
- ・AAA格 (AAA、Aaa)
- ・AA格 (AA+、AA、AA-、Aa1、Aa2、Aa3)
- ・A格 (A+、A、A-、A1、A2、A3)
- ・BBB格 (BBB+、BBB、BBB-、Baa1、Baa2、Baa3)
- ・BB格 (BB+、BB、BB-、Ba1、Ba2、Ba3)
- ・原則として、個別銘柄格付を採用しておりますが、例外的に国債、地方債ならびに政府保証のある債券などについては、弊社の分類基準に基づいて、ソブリン格付 (国の発行体格付) を採用しているものがあります。
- ・格付分布はS & P社、Moody's社、フィッチ・レーティングス社のうち最も低い格付を表示しています。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・当ファンドは、メキシコの公社債を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざしますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。
- ・従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第39期	第40期	第41期	第42期	第43期	第44期
	2016年11月5日～ 2016年12月5日	2016年12月6日～ 2017年1月4日	2017年1月5日～ 2017年2月6日	2017年2月7日～ 2017年3月6日	2017年3月7日～ 2017年4月4日	2017年4月5日～ 2017年5月8日
当期分配金	60	30	30	30	30	30
（対基準価額比率）	0.913%	0.458%	0.462%	0.436%	0.424%	0.423%
当期の収益	24	27	26	24	26	30
当期の収益以外	35	2	4	6	3	—
翌期繰越分配対象額	1,032	1,035	1,035	1,035	1,041	1,046

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

〈三菱UFJ メキシコ債券オープン〈為替ヘッジなし〉（毎月決算型）〉

◎今後の運用方針

- ・ 為替ヘッジは行わずに、主要投資対象であるメキシコ債券マザーファンド受益証券を高位に組み入れ、利子収益の確保および債券売買益の獲得をめざす方針です。

〈メキシコ債券マザーファンド〉

◎運用環境の見通し

- ・ メキシコでは、インフレ率の上昇や北米自由貿易協定（NAFTA）を巡る不透明感、米国の通商政策の影響などに引き続き注意が必要であるものの、メキシコ中央銀行による為替介入政策などがメキシコペソの安定化に寄与すれば、資金流出懸念の後退やメキシコ中央銀行による利上げペースの緩和などを通じてメキシコ債券市場は安定的に推移する可能性があると考えています。為替市場では、相対的に高いメキシコの金利水準や原油価格の安定化、エネルギー改革などの構造改革の進展などが、メキシコペソにとってポジティブな要因になると見えています。

◎今後の運用方針

- ・ 引き続きメキシコ国債を中心に運用します。国債への投資にあたっては、金利変動リスクの抑制とバリュエーション面などを考慮し、中長期ゾーンを中心に運用します。社債については、財務状況が相対的に安定し、金利水準面でも投資妙味が高いと考える銘柄を選別して投資する方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2016年11月5日～2017年5月8日)

項 目	第39期～第44期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率× (作成期中の日数÷年間日数)
(投 信 会 社)	(32)	(0.472)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(25)	(0.369)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.021)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	2	0.028	(b) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.026)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	60	0.890	
作成期中の平均基準価額は、6,730円です。			

(注) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2016年11月5日～2017年5月8日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第39期～第44期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
メキシコ債券マザーファンド	千口 1,841,040	千円 1,665,350	千口 64,252	千円 52,930

○利害関係人との取引状況等

(2016年11月5日～2017年5月8日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2017年5月8日現在)

親投資信託残高

銘	柄	第38期末		第44期末	
		口	数	口	数
			千口	千口	千円
メキシコ債券マザーファンド			747,730	2,524,518	2,391,223

マザーファンドの組入資産の明細につきましては、マザーファンド頁をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2017年5月8日現在)

項	目	第44期末	
		評 価 額	比 率
		千円	%
メキシコ債券マザーファンド		2,391,223	97.4
コール・ローン等、その他		62,753	2.6
投資信託財産総額		2,453,976	100.0

(注) メキシコ債券マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産 (2,464,048千円) の投資信託財産総額 (2,508,777千円) に対する比率は98.2%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=112.74円	1 メキシコペソ=5.95円		
------------------	----------------	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第39期末	第40期末	第41期末	第42期末	第43期末	第44期末
	2016年12月5日現在	2017年1月4日現在	2017年2月6日現在	2017年3月6日現在	2017年4月4日現在	2017年5月8日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	683,313,153	723,560,539	795,285,864	1,314,794,186	2,313,063,555	2,453,976,567
コール・ローン等	22,496,063	18,653,612	24,491,567	34,013,797	60,906,625	62,752,791
メキシコ債券マザーファンド(評価額)	660,817,090	704,906,927	770,794,297	1,280,780,389	2,252,156,875	2,391,223,776
未収利息	—	—	—	—	55	—
(B) 負債	7,242,746	7,348,644	4,758,800	7,036,013	14,331,265	14,236,268
未払収益分配金	6,228,453	3,293,336	3,671,228	5,726,932	9,780,245	10,356,548
未払解約金	—	2,983,110	—	—	2,037,557	—
未払信託報酬	1,011,672	1,069,433	1,084,761	1,305,701	2,507,034	3,869,657
未払利息	33	26	33	35	—	134
その他未払費用	2,588	2,739	2,778	3,345	6,429	9,929
(C) 純資産総額(A-B)	676,070,407	716,211,895	790,527,064	1,307,758,173	2,298,732,290	2,439,740,299
元本	1,038,075,538	1,097,778,900	1,223,742,731	1,908,977,433	3,260,081,876	3,452,182,977
次期繰越損益金	△ 362,005,131	△ 381,567,005	△ 433,215,667	△ 601,219,260	△ 961,349,586	△ 1,012,442,678
(D) 受益権総口数	1,038,075,538口	1,097,778,900口	1,223,742,731口	1,908,977,433口	3,260,081,876口	3,452,182,977口
1万口当たり基準価額(C/D)	6,513円	6,524円	6,460円	6,851円	7,051円	7,067円

○損益の状況

項 目	第39期	第40期	第41期	第42期	第43期	第44期
	2016年11月5日～ 2016年12月5日	2016年12月6日～ 2017年1月4日	2017年1月5日～ 2017年2月6日	2017年2月7日～ 2017年3月6日	2017年3月7日～ 2017年4月4日	2017年4月5日～ 2017年5月8日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 753	△ 937	△ 679	△ 666	△ 1,526	△ 3,715
受取利息	—	—	62	40	55	—
支払利息	△ 753	△ 937	△ 741	△ 706	△ 1,581	△ 3,715
(B) 有価証券売買損益	△ 15,189,998	2,619,667	172,579	67,914,157	58,056,982	21,412,619
売買益	370,015	4,289,275	2,971,415	68,231,881	59,658,037	21,538,007
売買損	△ 15,560,013	△ 1,669,608	△ 2,798,836	△ 317,724	△ 1,601,055	△ 125,388
(C) 信託報酬等	△ 1,014,260	△ 1,072,172	△ 1,087,539	△ 1,309,046	△ 2,513,463	△ 3,879,586
(D) 当期繰越益金(A+B+C)	△ 16,205,011	1,546,558	△ 915,639	66,604,445	55,541,993	17,529,318
(E) 前期繰越損益金	△355,967,294	△344,764,540	△317,870,112	△316,148,438	△ 244,976,361	△ 195,644,201
(F) 追加信託差損益金	16,395,627	△ 35,055,687	△110,758,688	△345,948,335	△ 762,134,973	△ 823,971,247
(配当等相当額)	(110,615,366)	(113,351,778)	(126,653,245)	(197,495,918)	(337,280,631)	(359,403,654)
(売買損益相当額)	(△ 94,219,739)	(△148,407,465)	(△237,411,933)	(△543,444,253)	(△1,099,415,604)	(△1,183,374,901)
(G) 計(D+E+F)	△355,776,678	△378,273,669	△429,544,439	△595,492,328	△ 951,569,341	△1,002,086,130
(H) 収益分配金	△ 6,228,453	△ 3,293,336	△ 3,671,228	△ 5,726,932	△ 9,780,245	△ 10,356,548
次期繰越損益金(G+H)	△362,005,131	△381,567,005	△433,215,667	△601,219,260	△ 961,349,586	△1,012,442,678
追加信託差損益金	12,762,362	△ 35,275,243	△111,248,185	△347,093,722	△ 763,112,997	△ 823,971,247
(配当等相当額)	(107,182,224)	(113,610,476)	(126,569,800)	(197,415,775)	(339,397,804)	(360,012,918)
(売買損益相当額)	(△ 94,419,862)	(△148,885,719)	(△237,817,985)	(△544,509,497)	(△1,102,510,801)	(△1,183,984,165)
分配準備積立金	37,662	33,891	92,811	186,383	93,198	1,205,080
繰越損益金	△374,805,155	△346,325,653	△322,060,293	△254,311,921	△ 198,329,787	△ 189,676,511

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ① 作成期首(前作成期末)元本額 979,070,237円
 作成期中追加設定元本額 2,833,564,045円
 作成期中一部解約元本額 360,451,305円
 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.7067円です。

② 純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1,012,442,678円です。

③ 分配金の計算過程

項 目	2016年11月5日～ 2016年12月5日	2016年12月6日～ 2017年1月4日	2017年1月5日～ 2017年2月6日	2017年2月7日～ 2017年3月6日	2017年3月7日～ 2017年4月4日	2017年4月5日～ 2017年5月8日
費用控除後の配当等収益額	2,547,905円	3,073,024円	3,243,432円	4,676,795円	8,715,747円	11,469,650円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	—円	—円	—円	—円	—円	—円
収益調整金額	110,815,489円	113,830,032円	127,059,297円	198,561,162円	340,375,828円	360,012,918円
分配準備積立金額	84,945円	34,647円	31,110円	91,133円	179,672円	91,978円
当ファンドの分配対象収益額	113,448,339円	116,937,703円	130,333,839円	203,329,090円	349,271,247円	371,574,546円
1万口当たり収益分配対象額	1,092円	1,065円	1,065円	1,065円	1,071円	1,076円
1万口当たり分配金額	60円	30円	30円	30円	30円	30円
収益分配金総額	6,228,453円	3,293,336円	3,671,228円	5,726,932円	9,780,245円	10,356,548円

④ 「メキシコ債券マザーファンド」の信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産に属する同親投資信託の信託財産の純資産総額に対し年10,000分の50以内の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。

○分配金のお知らせ

	第39期	第40期	第41期	第42期	第43期	第44期
1 万口当たり分配金 (税込み)	60円	30円	30円	30円	30円	30円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<http://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

【お知らせ】

2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。）の税率が適用されます。

メキシコ債券マザーファンド

《第8期》決算日2017年5月8日

[計算期間：2016年11月5日～2017年5月8日]

「メキシコ債券マザーファンド」は、5月8日に第8期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第8期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	メキシコの公社債を主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。運用にあたっては、メキシコの国債、政府機関債、社債等に投資を行います。投資する社債は、メキシコの企業が発行する債券とし、原則として取得時においてBBB一格相当以上の格付けを取得しているものに限りません。なお、社債への投資比率は純資産総額の30%以下とします。メキシコペソ建て以外の公社債への投資比率は、純資産総額の20%以下とします。メキシコペソ以外の通貨建て債券等に投資した場合は、原則として、実質的にメキシコペソ建てとなるように為替取引を行います。債券等の運用にあたっては、F I レイベストメンツ・インターナショナルに運用指図に関する権限を委託します。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要運用対象	メキシコの公社債を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債組入比率	債券先物比率	純資産総額
	円	騰落率			
4期(2015年5月7日)	11,501	△ 5.0	94.4	—	2,162
5期(2015年11月4日)	11,307	△ 1.7	91.7	—	1,581
6期(2016年5月6日)	9,502	△16.0	93.1	—	972
7期(2016年11月4日)	8,608	△ 9.4	94.4	—	769
8期(2017年5月8日)	9,472	10.0	91.6	—	2,508

(注) 当ファンドは、メキシコの公社債を主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざしますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額 騰 落 率	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
(期 首) 2016年11月 4 日	円 8,608	% —	% 94.4
11月末	8,339	△ 3.1	90.2
12月末	8,575	△ 0.4	97.4
2017年1月末	8,378	△ 2.7	94.5
2月末	8,826	2.5	90.4
3月末	9,520	10.6	93.3
4月末	9,255	7.5	93.2
(期 末) 2017年 5 月 8 日	9,472	10.0	91.6

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ10.0%の上昇となりました。

基準価額の推移



●投資環境について

◎債券市況

- ・期首から2016年11月下旬にかけては、米大統領選挙で保護主義的な政策を掲げるドナルド・トランプ氏が勝利したことなどが影響し、メキシコ金利は上昇しました。
- ・その後は、米国の通商政策やメキシコのインフレに対する思惑などが材料視され、メキシコ金利は上下する展開となりました。
- ・期を通じて見ると、メキシコ金利は上昇しました。

◎為替市況

- ・2016年11月上旬に実施された前記の米大統領選挙の結果を受け、メキシコペソは対円で下落したものの、米国金利の上昇を受け円安・米ドル高が進行したことなどが影響し、12月中旬にかけてメキシコペソは対円で上昇しました。12月下旬から2017年1月下旬にかけては、米国の通商政策に対する懸念が広がったことなどからメキシコペソは対円で軟調に推移したものの、その後、メキシコ中央銀行による利上げや為替介入観測が高まったことなどを背景に、メキシコペソは対円で上昇しました。
- ・期を通じて見ると、メキシコペソは対円で上昇しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

◎組入比率

- ・現物債券の組入比率を高位に維持して運用を行いました。

◎債券種別構成

- ・メキシコ国債を中心に運用を行いました。社債については、財務状況が相対的に安定しており、かつ利回り面でも魅力があると考え、メキシコペソ建て社債を引き続き一部組み入れました。

◎金利戦略

- ・メキシコ国債については、バリュエーション面で投資妙味があると考えられる中長期ゾーンを中心に運用しました。
- ・ポートフォリオ全体で見ると、メキシコ金利が上昇したことなどがマイナスに影響したものの、債券利子収入を享受したことやメキシコペソが対円で上昇したことなどが基準価額にプラスに寄与しました。

○今後の運用方針

◎運用環境の見通し

- ・メキシコでは、インフレ率の上昇や北米自由貿易協定（NAFTA）を巡る不透明感、米国の通商政策の影響などに引き続き注意が必要であるものの、メキシコ中央銀行による為替介入政策などがメキシコペソの安定化に寄与すれば、資金流出懸念の後退やメキシコ中央銀行による利上げペースの緩和などを通じてメキシコ債券市場は安定的に推移する可能性があると考えています。為替市場では、相対的に高いメキシコの金利水準や原油価格の安定化、エネルギー改革などの構造改革の進展などが、メキシコペソにとってポジティブな要因になると見ています。

◎今後の運用方針

- ・引き続きメキシコ国債を中心に運用します。国債への投資にあたっては、金利変動リスクの抑制とバリュエーション面などを考慮し、中長期ゾーンを中心に運用します。社債については、財務状況が相対的に安定し、金利水準面でも投資妙味が高いと考える銘柄を選別して投資する方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2016年11月5日～2017年5月8日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	円 2 (2)	% 0.027 (0.027)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
合 計	2	0.027	
期中の平均基準価額は、8,815円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2016年11月5日～2017年5月8日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	メキシコ		千メキシコペソ	千メキシコペソ
		国債証券	238,875	8,190
		社債券	27,195	2,777

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2016年11月5日～2017年5月8日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2017年5月8日現在)

外国公社債

(A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千メキシコペソ	千メキシコペソ	千円	%	%	%	%	%
メキシコ	391,100	386,295	2,298,457	91.6	—	74.8	11.4	5.3
合 計	391,100	386,295	2,298,457	91.6	—	74.8	11.4	5.3

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期 末					
	利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日	
			外貨建金額	邦貨換算金額		
メキシコ	%	千メキシコペソ	千メキシコペソ	千円		
国債証券						
	10 MEXICAN BONOS 361120	10.0	3,400	4,263	25,368	2036/11/20
	4.75 MEXICAN BONO 180614	4.75	16,800	16,476	98,036	2018/6/14
	5.75 MEXICAN BONO 260305	5.75	69,000	62,682	372,960	2026/3/5
	6.5 MEXICAN BONOS 210610	6.5	17,800	17,444	103,796	2021/6/10
	6.5 MEXICAN BONOS 220609	6.5	55,800	54,389	323,620	2022/6/9
	7.5 MEXICAN BONOS 270603	7.5	24,500	24,961	148,518	2027/6/3
	7.75 MEXICAN BONO 171214	7.75	6,000	6,037	35,920	2017/12/14
	7.75 MEXICAN BONO 310529	7.75	83,600	86,164	512,680	2031/5/29
	8 MEXICAN BONOS 200611	8.0	30,000	30,807	183,303	2020/6/11
	8 MEXICAN BONOS 231207	8.0	17,000	17,794	105,874	2023/12/7
	8.5 MEXICAN BONOS 290531	8.5	26,300	28,823	171,499	2029/5/31
普通社債券	7.19 PETR MEX(GL) 240912	7.19	40,900	36,450	216,877	2024/9/12
合 計					2,298,457	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2017年5月8日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円	%
	2,298,457	91.6
コール・ローン等、その他	210,320	8.4
投資信託財産総額	2,508,777	100.0

(注) 期末における外貨建純資産(2,464,048千円)の投資信託財産総額(2,508,777千円)に対する比率は98.2%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1アメリカドル=112.74円	1メキシコペソ=5.95円
-----------------	---------------

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2017年5月8日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	2,546,199,767
コール・ローン等	155,850,120
公社債(評価額)	2,298,457,350
未収入金	37,422,000
未収利息	36,318,041
前払費用	18,152,256
(B) 負債	37,665,905
未払金	37,665,810
未払利息	95
(C) 純資産総額(A-B)	2,508,533,862
元本	2,648,473,425
次期繰越損益金	△ 139,939,563
(D) 受益権総口数	2,648,473,425口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,472円

<注記事項>

- ①期首元本額 893,847,936円
 期中追加設定元本額 1,845,755,472円
 期中一部解約元本額 91,129,983円
 また、1口当たり純資産額は、期末0.9472円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

三菱UFJ メキシコ債券オープン<為替ヘッジなし>(毎月決算型)	2,524,518,345円
三菱UFJ メキシコ債券オープン<為替アクティブヘッジ>(毎月決算型)	123,955,080円
合計	2,648,473,425円

- ③純資産総額が元本額を下回っており、その差額は139,939,563円です。

○損益の状況 (2016年11月5日~2017年5月8日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	45,088,213
受取利息	45,096,349
支払利息	△ 8,136
(B) 有価証券売買損益	100,683,971
売買益	138,969,232
売買損	△ 38,285,261
(C) 保管費用等	△ 362,559
(D) 当期損益金(A+B+C)	145,409,625
(E) 前期繰越損益金	△124,413,699
(F) 追加信託差損益金	△176,075,472
(G) 解約差損益金	15,139,983
(H) 計(D+E+F+G)	△139,939,563
次期繰越損益金(H)	△139,939,563

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。